京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話八六三）
發行所　京城新報社

甘茶澁茶

▲道徳標準の下落

動物の虐待に就ては法規の設けられたる今日稍々其の跡を絶ちしが如く、今は植物虐待の禁止に就てさへ唱道する者あるに、人間の虐待は日として各所に行はれ、諸工場の如きは阿鼻叫喚の時に渉るさへあり、時勢は絶えず工場法案の請求を爲して止まざりしが、遂に漸く此れが編成を見、近く將に發表せられんとすと聞く。余輩は雙手を擧げて之を歡迎すと雖ども、生物虐待殊に職工虐待の如きは、元是れ人道問題にして法規の之を制止すべき事無ならず。而かも之れ没くんば遂に克く人間虐待を防止すること能はざるか、而して其の法規に觸れざる限りは、存分の要求を職工に強ひ得るものとすれば此の法規は軈て人道問題を解決する道具とも見るべく道徳の標準は軈て法律にあるに至らんか。道徳標準の下落、豈に嘆ずべからずや。

▲祖先を奈何せん

露のゴーゴル大文豪の誕生百年祭は去五月を以て行はれ、今亦た英の大文豪チャールス、ダーウヰンの誕生後百年に相當し彼の『種源論』の著後五十年に當るを以て、本日各地に盛大なる紀念祭を施行すと聞く。余輩はかゝる世界の偉人を紀念し、生前世に貢献したりし彼等が功績を頌ゆるは、學界の麗はしき振舞として賛成せざるを得ず、ダーウヰンが彼の破天荒の『種源論』を著はして最近百年間の思想界を其の根蔕より打破し、大革命を與へて世に貢献したりし功勳に至つては、世人の永く記憶し感謝する所無からず、然れど余輩は唯竊に恐る、此等の美擧に與り加はる者にして、已れが祖先の命日を紀念し祭祀を怠らざる者果して幾人かあるかを、世には偉人の建碑祭祀に狂して自己の祖先を顧みざる者多し、唯世に勤功無かりしが故に祖先を祭らずと云ふ者あらば余輩又た何をか言んや。

▲亦是功名の奴隷か

ピアリー中佐は米の男子にしてクック博士も亦た米の男子なり。同じく北極を探險して世に貢献せんと企てしもの前後數回男子の快擧何者か之に加へん事の成否の如きは元より期すべからざるに兩雄の如きは既に克く之を稍々完全に近き迄に成就し、各々其の觀る所を斷し、以て之を世に公にするに至りしと、兩雄の心事の如何に痛快なるかは、余輩の想像にだに及ばざる所なるべし。然れども世上傳ふ所を聞くに、各々其の相手をケナし、相手の云ふ所を非とし已れの云ふ所を是とし、兩々相爭うて相譲らず、さては罵詈讒謗さながら車夫の喧嘩の如く、見苦るしき振舞を敢てするに至れり。熱心の極茲に至りしとするも、余輩は堂々たる學者の而も一流の紳士の、一時の功名心に驅られて素志に反するの行爲を敢てすると、兩子の爲めに惜しまざるを得ず。兩子にして遂に倘は此の如くにして止まずんば、世は應に兩子を目するに功名の奴隷を以てし、其の云ふ所嘘八百なりと爲すに至るべし、成功何爲るものぞ、要は唯有の儘を叙べて少しでも世に貢献する所あるべきにあらずや。

ダーウヰン紀念

雜報

本年は露の文豪ゴーゴリの誕生百年に相當したるを以て其の誕生日即去五月九日各地に於て紀念祭を行ひしが英の文豪チャールス、ダーウヰンも亦た本年は誕生後百年に相當し倘は彼れが最近百年間に於ける思想界に根蔕より一大革命を與へたる『種源論』てふ破天荒の大著述を行ひしより五十年に相當し本日は即ち彼が誕生日なるを以て英國は云ふに及ばず各國に於て盛なる誕生紀念祭を施行する筈なるが茲に不思議にも我國に於て近頃志賀重昂氏により一大好個の紀念物を發見したるは我國に於ける該紀念祭をして一層興味あらしむる事なるべし該紀念物と云ふはダーウヰンが『種源論』を造成したる壯年時代搭乗して世界を巡航せし英國軍艦ビーグル號の一片にして不思議にも志賀氏の熱心により東京の蠣殻町水天宮の境内に於て發見されたりダーウヰンは彼の軍艦に搭乗して出發せんとする時『我生涯の爲めには誕生日の如し』と自記せし軍艦の行方を發見したる顛末に就て今日彼が誕生紀念日に語るは決して興味なき事ならざるべし。彼の軍艦の行方に就ては杳として知るものなく學者社會に於ては其蹤跡に就て非常の熱心と苦心とを以て探索し居たりしが圖らずも極東万里の我日本に於て發見せられたるは如何にも奇蹟なるかの感を抱かしむ今より廿五年前志賀氏が北海道札幌農學校在學中一日米國の雜誌に彼の有名なるビーグル號が日本人の手に渡り居る事の記事を見其の船の不思議の運命に驚きたる事あり爾しが後卒業して明治十八年我軍艦筑波に乗り込みダーウヰンが踏査したる南海島に航行したりし時氏は圖らずも乗艦の一士官よりビーグル號が築地水交社の手に歸し當時練習艦となり乾行艦と命名され居るを聞けり因て氏は歸期後乾行艦に就て探索する所ありしに該艦は既に老朽したるを以て海軍省より品川造船所長緒明菊三郎氏に拂下げありしと聞き其の事實を確むる爲め海軍省小笠原大佐（當時大尉）に就き聞き訊したるに同艦は六砲を備へ付けたる三本マストの船にしてリバープルに於て建造され英國艦籍より除かれたる後元治元年（一千八百六十四年）英國人の手により七萬五千弗にて薩州藩に讓渡され廢藩置縣の後薩藩は之を政府に献納したるを以て政府は最初の海軍卿川村純義氏をして受領せしめ前記の如く練習艦に用ひ後三千二百七十六圓にて前記緒明氏に拂下げ氏が物故の後當時の造船所長緒明菊三郎氏が同艦を解体せしめしかば今は其の破片すら見出す事能はずと知れ志賀氏は少なからず落膽したるが後志賀氏は當時船渠に働きたる職工を呼び集め詳しく聞き訊したるに一老船匠の言に船体の大部分は今は散逸して其の所在を知るに由なきも只其の一片を蠣殻町水天宮に奉納し御堂の側に埋めたりと物語りたるなり而して氏が此の言をたよりに水天宮境内の敷石の下より同破片を發見するに至りたるは實に先月の二十五日にして斯くて彼の有名なる十九世紀の大偉人ダーウヰンをして大成功をなさしめたるビーグル號の片影は不思議にも我日本に於て此の世に現はれ來れり而して此船片發見に就ての志賀氏の苦心と顛末とは千頭清臣氏によりてダーウヰンの令嗣フランシス、ダーウヰン氏及在英國大使館を經て英國社會に發表せんが爲めに英文にて配布せられたる由不思議と云へば不思議にて同盟國たる我日本に此の偉人の最大好個の紀念物を發見したるは地下のダーウヰンをして定めしホヽ笑ましむる事なるべし。

和歌募集

勅題「新年雪」

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日　本社編輯局

◎新刊紹介

●實業の世界（六の十三）　三宅大隈池邊後藤新渡戸岡崎竹越諸子の縦横なる伊藤公論を初め徴咱徴尾野依式の文字を以て埋む△十一錢△東京芝三島町實業之世界社發行

●法政新聞（四）　統監府裁判所令、韓國軍人軍屬の犯罪審判に關する件、辯護士規則、韓國に於ける行政の實質（平渡法學士）司法事務委任に就て（國分檢事總長）等を載す△八錢△京城太平町法政新聞社發行

鎮西八郎

第三十八席

伯山改　神田松鯉口演

爲朝の剛勇に草賊共は膽を潰して逃出しました、さア是れから爲朝の強ひと云ふことが村中の評判となつたので、爲朝はハタと當惑しました、もしや平家の者に嗅付かれては大變と思はれたから、そこで甚右衛門に其の譯を話して山本村を出立した、けれども最早遅い、もうスッカリ平氏の方から手が廻つて居ました、直ちに捕縛したいのでありますけれど、爲朝の勇氣に恐れて容易に手を下しません、爲朝は同じ近江國輪田と云ふ處の民家へ潜み、機を見て九州へ下らんとされた時に、數月の疲勢が積り積つて腹の病を煩はれた、唯今の言葉で申せば腸の病でありませう、腹の病には湯が好いと云ふので風呂へ入つて居られる所を、急に士兵三十騎に囲まれて遂に生捕られましたのは誠に残念至極の次第であります、此時は保元元年九月二日でございます、爲朝は都に引かれ殺されることゝのみ思ひ給ひしに、死一等を減じて大島へ流罪と云ふことになつた、死を許されたわけは、爲朝は實に天下稀なる勇者であるから之れをムザ／＼殺すのは惜しいと云ふのでございます、之れを見てもさすがに日本は武を尚ぶ國であることが知れます、さて朝廷に於かれましては急に工藤茂光に上洛を命ぜられた、此の茂光は伊豆國の狩野の豪族でありまするが、是又弓矢に掛けてはなか／＼の達人、九月上旬に御使ありて直ちに上洛すべき由の仰を蒙り取るものも取不敢、家來數多を召連れまして、同月十五日都へ参着仕りましたから、源爲朝を大島へ流さるゝに就て、路次を最も心を用ひて相守り召連れるやうにと周防守季實を以て申傳へられました、茂光勅命を承はつて、畏み奉り爲朝を受け取りまして既に歸國せんとする折しも少納言信西はソッと茂光を自分の屋敷に招き、何か申含めました、相變らず悪い方には抜目のない信西、どうせ爲朝のために成ることで無いことは分り切つて居ます。爲朝は肘の筋を抜かれることゝなり手綱を取ることが出來ませんから牢輿を作つて是れに乗せ、四方に綱を渡して人足二十餘人に舁せ、其の手の郎黨五十餘騎、前後左右を警衛しつゝ茂光は後陣に在りて馬上勇々しくぞ相見へました、去れば名立たる爲朝を見やうと四方から集まり來たつた老若男女、爲朝は輿の内に端座して物見より顔をだに出だし玉はねば、確と見ることも出來ませぬ、路も遠き東路を日に歩み夜に泊り段々と進んで行く、或日爲朝は人足等に向はれ「コレ汝等能く承はれ、人は流さるゝを憂ふかは知らざれど、爲朝は此の上もなき喜びである、何んとなれば輿に乗り兵を從へ茂光に供をさせて配所に赴かしめ玉ふこと、誠に身の面目ならずや、然るに汝等吾れを罪人なりと侮らば好きことはあるべからず、申すも畏れ多けれど帝の御威徳なれば肘の筋は絶るゝとも吾れに於ては少しも損なし、弓こそ少し弱くてもなりたれ矢束が引くに何んの差支へあらんや、物を貫くことは初めの如けん、況んやかばかりの牢輿の破れぬことかあるべきや」と、手足を少し伸してウムと……力を出だし玉へば、さしも厳重に作りたる牢輿がミチ／＼と音がして将に砕けん計りの有様。今度はウンと身体に力量を入れると擔ぎて廿人の人足、肩がめり込んで動くことが出來ませぬ、一同の者は持て餘して仕舞つた「此分で怒られた日にやア輿を破つて出るかも知れぬ」と是れよりはまるで變つて、昨日までは一同爲朝を軽侮して罪人扱ひをして居たものが、急に尊敬して主人の如く神の如くに致します、爲朝はカラ／＼と打笑ひ「さても笑止の奴等であるわい、然し斯様な輿の一つや二つを破り、汝等如きもの百や二百を打殺すこと何の造作もなけれど、左様のこと致しては朝廷へ相濟まずと存じて神妙に致し居るのぢや」と宣ひ給ひましたのは誠に[illegible]れ方でございます

(二) (可認物便郵種三第) 明治四十二年十一月廿五日 京城新報 (木曜日) 第一千七百二十一號

東京電報

東宮横須賀行啓

皇太子殿下は今朝新橋御發横須賀海軍砲術學校及水雷學校に御成りあらせられたり(二十四日)

竹田宮の御伏奏

海軍兵學校卒業式に御參臨の竹田宮殿下は新橋に御歸着直に御參內御伏奏あらせられたり(同上)

兩內親王の御成

富美宮、泰宮兩內親王殿下は教養主任以下を隨へさせ瀧の川へ成らせられ紅葉を御覽ありたり(同上)

無線電信の失敗

下總銚子及天洋丸間に試驗中なる無線電信は昨夜も應信なく終に失敗に歸せり(同上)

日獨郵便の早着

十一月三日横濱發西伯利經由の獨逸郵便物は同十九日又同月五日横濱發同經由の郵便物は同月廿一日何れも伯林に到着したり此結果に依り今後は同線を經由すべし(同上)

地租輕減餘金

政府は國庫剩餘金一千萬圓を以て地租輕減の資に充てんとの說あるも當局者は該金は一般歲入の增加にして不確定のものなれば不可なりとの說を持し居れり(同上)

海軍擴張の方針

第三期海軍擴張は四十九年度迄延期せられたるが豫定の如く進行せしむる方針なり而して四十七年度迄に工事を竣る戰艦一、裝甲巡洋艦二、三隻を建造する筈なるが列國の大勢に鑑み更に第四期計畫に入らしむべしとの說あり(同上)

取引所の改正案

本期議會に取引所法改正案提出さるべしとの說あれど當局者は之に就き目下何等の意見なしと稱し居れり(同上)

伊藤博邦氏歸京

伊藤博邦氏は昨夜八時三十分歸京し本日故公の三十日祭を執行せり(同上)

山根中將叙勳

陸軍中將男爵山根武亮二等功二級は勳一等に叙し旭日大綬章を授けらる(同上)

塚本中將の後備

陸軍中將男爵塚本勝嘉は後備役仰付けられたり(二十三日)

輸出入と貿易高

十一月末日迄の貿易總額は輸出價三億五千五百二十五萬七千圓輸入價三億五千六百九十九萬六千圓差引出超四百六万千圓なり(同上)

歐洲電報

佛國總督の召喚

佛領印度支那總督クレフスキー氏は巴里に召喚せられたるが安南革命事件に關する用件ならん(廿四日着)

露國と外人徵税

露國政府は哈爾賓行政區は在住外國人に對する徵税は場合に依りて强制執行をなすべしとの訓令を發せり(同上)

獨逸政客の渡日

曾て駐日獨乙大使たりしフォンフルテベル氏は清國及日本觀察の途に上れり(同上)

英獨開戰の愚說

ブライアン氏は紐育に於て獨大使と同意味の演說をなし英獨開戰說は愚なりと罵倒せり(同上)

佛國旗侮辱事件

佛國樞密院は佛國々旗の侮辱に對する其罪の制定を諮詢せり(同上)

奉天電報

馬賊安奉線に襲來

二十二日安奉線三臺子(?)に五十餘名の馬賊襲來し工事中の新井組人夫十數名負傷したり(二十四日)

北京電報

端方罷免と後任

西太后葬儀の寫眞を撮らしめ不敬罪を以て彈劾されたる直隸總督端方は終に罷免せられ後任は湖廣總督陳夔龍、湖廣總督の後任には江蘇巡撫瑞徵(?)任ぜられたり(廿四日)

端方罷免の理由

清國直隸總督端方は西太后葬儀の際不敬事件は靈轜に乘れる儀部の列を遮ぎらしめ又靈場の附近に於て電柱に使用せる等罪狀にして李鴻章の子李國傑に彈劾されて二十二日遂に罷免さる 同上

關野博士の講演

度支部囑託關野工學博士、谷北文學士の韓國古代建造物並に藝術に關する講演會は廿三日午後一時より京城日韓官民の通館樓上に開會、日韓官民百餘名、谷北文學士は上世日韓の關係と題し上世に於ける日韓は一城なりしなり日本紀を繙き其記事多きに驚く者は蓋し韓人の力を藉りて以て半島を統治せしより離れて以來千二百餘年を經過し遂に上世の關係を忘れたるなり明治の聖世に於て日韓は古し復一城の狀態となるを見逃されたるなりと喝破し次に關野博士に復往したる以來の關係を述べ次で平壤及開城の古墳と其他上の有益多趣味なる講演あり關野博士は韓國藝術の變遷を說くに第一期三韓時代、第二期三國時代、第三期新羅統一時代、第四期高麗時代、第五期朝鮮時代と區別し各時代に於ける藝術を具體的に說明したり斯くて午後四時半閉會したり

鐵道院の新制服

鐵道院の新服制は萬般の準備成り法制亦た出來上りて目下上奏中なれば御裁可を得次第即日實行の由にして或は猶ほ幾分の變更あるやも知れざれど今迄に定まり居る新制服は警官制服と海軍制服とを折衷したるものとも云ふ可き甚だハイカラのものにして帽章は警官の夫れに酷似して警官の場合に於ては中央に櫻花ある代りに鐵道院吏員の場合には車輪を用ゐ制服には前に金鈕あり腕端には縦に(海軍は橫線)黑線を入れて官等階級を示し襟にも各別の徽章を付して職務、等級を示す事とし更らに禮服には金線入りの肩章を付し且つ帶劍するものなりと

免許漁業の方針

近日中に免許せらるゝ筈なる免許漁業は漁業上の收益にのみ重きを置かず一方に於て漁民の移住を奬勵することが主なる目的なれば團體又は共營の出願者を先にし一個人の出願にかゝるとは投機的の性質を帶びる者多ければ特に愼重なる調査を要すれば自然後廻しになるべしといふ

學部來年度の豫算

學部より提出したる來年度豫算總額は八十七萬五千圓にして之れを本年度に比すれば約二十五萬圓の增額なるが其の重なるものは經常費に於て二萬八千圓、學校建築費に於て八萬五千圓、實業學校新設に要するもの九萬三千圓也

兩銀行の調印濟

別項記載の如く第一銀行と韓國銀行との事務引繼は二十四日を以て遲滯なく終了したるを以て第一銀行取締役日下義雄氏と韓銀總裁市原盛宏氏との間に引繼終了の調印を二十四日度支部に於て終了したり尙調印に付ては韓銀監理官たる藤原度支部書記官立會調印せり

事務引繼の完了

第一銀行より韓國銀行への事務引繼は去廿一日より開始一昨廿三日を以て本支店出張所とも遲滯なく完了したり而して引繼事務の重なるは韓國々庫事務、日本金庫事務、銀行券發行に關する事務、地所、建物、什器、雜品、南大門へ新築中の行舍等なるが營業事務に就ては公金預金、官吏の積立金、宮廳及關係の保護預り(例へば官廳の身元保證金)等は之を韓國銀行に引繼ぐも普通貸出、預金及保護預りは依然として第一銀行に於て繼續營業する由地所建物の評價に就ては四十年以降のものは實費其以前のものは評價引繼ぎを爲したり因に銀行券發行に關する事務引繼に付ては第一銀行監理及荻田書記官立會せり

兩銀の引繼目錄

去る二十日の報告を以て引繼を開始したる一銀と韓銀の二行は一昨二十三日付を以て大體の引繼を終了したるに依り愈々昨二十四日より普通の營業を開始したるが其の引繼目錄は別項記載の如くにして第一よりは重役日下義雄氏韓銀にては市原總裁度支部にては監理官藤原正文氏等調印の上其の授受を了る筈なりと今其の引繼目錄の大畧を示せば左の如し

一銀行券發行高	千百八十三萬圓
一韓國政府預金	三十八萬圓
一公金預金	九十八萬圓
一個人の普通預金	百七十二萬圓
一政府貸上金	八百十四萬圓
一民團貸付金(京城釜山)	六十二萬圓
一新行舍建築費	四十萬圓
一京城の土地建物	五十一萬圓

前項の內政府の貸上金と民團貸付金は本店及各支店の全部なれども其の他は京城本店のみの分にて各支店出張所の分は向ふ十五六日までに出揃ふ筈也と

韓國銀行の負債額

韓國銀行と第一銀行との事務引繼の結果第一銀行に對する韓國銀行の負債額は七百八十餘萬圓に上れりと

市原氏等の行賞

韓國政府は從來第一銀行韓國支店に在つて國庫事務貨幣整理等に從事したる人々に向つて近々行賞の沙汰を下すとの事なるが聞くところに依れば元總支配人市原以下幹部をば叙勳し各地支店出張所長の諸氏へは銀杯一組ツヽを贈るとの事なり

●地方韓學童と日語

此程江原、忠北兩道の學事視察を爲して歸來したる學部當局者の談を聞くに地方に於ける普通學校は公私立共案外整頓しれれり殊に江陵普通學校の如きは頗る見るべきものありたり學校數は日增に增殖し至るところに私立學校の設置を見るを教授方法は不規律千萬にて一例を擧ぐれば終日資治通鑑などを朗讀するのみにて毫も他學科の教授をなさず之に比して公立學校は教授時間の少なき割合に科目等も多く普通學全般に亘りて教授をなす事なれば卒業後遙かに優良なる成績を示すを以て漸々韓人間に聲望を高め附近に私立學校の設けあるにも拘はらず二里三里を遠しとせずして公立學校に通學する者ありされば爰に頗る奇觀を呈するは同じ一年級に七八歲の小童もあれば二十七八歲の中年者もあり後者は入學前既に一通り漢籍の素養を有する者なるも日語の如きは却つて小童の方成績能く大抵二年間位を經ば日本語を以て自在に理科數學の如きを教授する事を得べし江陵より十數里を隔てたる珍富普通學校の如き同地守備隊の通譯が算術、漢文、及び日語の教授をなしつゝありしが守備隊引上げと同時に日語の科目を廢したるより二十五名の學童が頓に三名に減じたりとの一事に徵するも地方學童が如何に日本語の研究に熱心を傾倒せるかを知るに至らん云々

●本月中旬外國貿易

十一月中旬に於ける外國貿易に就き關税局の調査せし處左の如し

區別	本旬分	前年同期
輸出品價	六一五、二三三	三六七、八〇七
輸入品價	一、二五八、二二八	一、五六七、三〇八
合計	一、八七三、四六一	一、九三五、一一五
輸入超過	六四二、九九五	一、一九九、五〇一

本年貿易額の港別左の如し

港別	本旬分 輸出額	輸入額	計
仁川	五三、九七六	四三六、八五七	四九〇、八三三
釜山	一二一、一三三	三二一、四七一	四四二、六〇四
元山	三四、九四四	一五九、九三六	一九四、八八〇
鎭南浦	八二、五六六	八二、七〇四	一六五、二七〇
京城	……	一八一、四〇七	一八一、四〇七
群山	一〇〇、〇六六	三九、四九〇	一三九、五五六
木浦	六六、八〇五	二七、三八七	九四、一九二
馬山浦	五、五二五	一四、九五一	二〇、四七六
清津	二七六	五一、四八〇	五一、七五六
城津	七、五三一	二一、五五七	二九、〇八八
新義州	四二、四二三	二〇、九七八	六三、四〇一
計	六一五、二三三	一、二五八、二二八	一、八七三、四六一

●沿岸各航路の近況

其筋に到着せる報告によれば先月は宗信丸十二日以降缺航せるため前月に比し運賃五百六十圓余荷物數四千個の低減を見るに至れり而して釜山輸出品は果實、木綿、洋酒、清酒、米豆、明太、烟草、石油、雜貨等にして北方蔚山迎日灣よりはイリコ干魚、鹽魚、鯨肉、米豆等の輸入と南方各寄港地よりは魚類牛皮イリコ木炭等にして各港中麗水、濟州、木浦、迎日灣、蔚山と釜山間の貿易は益々繁盛に赴ける由なるが各地間貿易は未だ著しきものなしと雖も麗水、木浦、濟州間は漸次發達の見込ありと云ふ

●水道會社の放賣說

大韓水道會社の維持難次で賣却談は昨今或る方面に於て袴りに傳へられ既に瓦斯會社の如きも其交渉を受けたりしやに傳ふるものあれども同專務岡崎氏は當社は固より東京本社に於ても一向其邊の相談を受けたることなしさて非認し居らるゝが水道會社が竹內綱氏に賴りて東京何れかの方面に賣却を申込みたるは實際の事なりと云ふ

●普通學校增設計畫

現在の公立普通學校は甲種五十箇所乙種三十箇所計八十校なるが學部にては來年度に於て更らに三十箇所の乙種普通學校を增設する計畫にて其經費として來年度豫算に四萬一千圓を計上したる由にて年々三十箇所宛を增設して教育の普及を計る見込みなりといふ

清國武官四名の入京

清國陸軍協統北洋參謀舒清河、同軍諮所張仁國、同正軍校唐寶潮、軍師範の四氏は二十二日夜釜山より京釜線にて入京したるが馬清國總領事、陳同通譯官等は南大門停車場まで出迎へたりと

●清國武官統監訪問

昨二十三日大清軍諮處第一廳第三科長陸軍協參領張國仁、軍諮處第一廳一等科員軍師範、陸軍部一等諮議官北洋總參議記名陸軍協都統正參領舒清阿、軍諮處科員騎兵科正軍校銜唐寶潮の四氏は統監府を訪問したれど祭日にて休暇なりしかば石塚長官、小松書記官に名刺配送方を依賴し歸りたりと云ふ

●仁川管內民籍調査

仁川署管內に於ける民籍調査は目下日韓巡査六名にて極力精査中なるが既に府內面は完了し他所面の如きも其三分の二を結了し居れば遲く共本年內には悉皆の調査を完結する豫定なりといふ

●物品陳列所補助金

忠清南道に於ける諸國產物陳列所に於ては何分僅少の經費にて物品を集むる能はざるにぞ沼澤書記官より補助金下附の申請あり農商工部にて目下詮議中

●參與官會議の開催

二十三日開催の定日なりしも祭日なりしため昨二十四日に延期し午前統監府樓上に於て參與官會議をなしたりと

●實業學校增設計畫

學部にては來年度に於て全國に三十箇所の實業學校を增設する計畫にて之れが經費九萬三千圓餘を豫算に計上せり

●榊原憲兵隊長視察

當地憲兵隊長榊原昇造氏は本日松村副官を隨へ黃海道海州地方視察の爲め出發したるが來る廿七八日頃歸京の豫定

●統監官邸內の閣議

參與官會議と同じく一日延期二十四日午後一時より李總理以下各大臣、各次官等參集し會議開催、三時過散會せり

●兩銀行の業務開始

第一銀行及び韓國銀行は何れも昨二十四日より一般に業務を開始したりと

●學事視察員の歸任

江原、忠北兩道及び慶南、全南兩道の學事視察團は廿二日それぞれ歸任せり

東拓事件の辯論

峯岸繁太郎氏對東洋拓殖株式會社總會無効宣言請求事件は昨廿四日午前十時京城控訴院に於て開廷せられたり裁判長は三宅判事陪席は山口、水野の兩判事にして控訴本人峯岸氏及訴訟代理人本田、皆川、高橋、岩田、木尾、岩本の各辯護士と被控訴人代理人岡田辯護士との間に五時間余の辯論あり全く終決せしは午後三時なりし因に判決言渡は來る廿九日午前十時との事なり

龍山通信(廿四日 支局報)

▲龍山徵税の成績 龍山民團第二期の徵税は成績甚だ宜しく既に其の六分方を徵收了れりといふ是れ吏員の勉勵に依るもの多からんも總じて居留民の生計良好の狀態に在るを證するに足れり

▲小學校の紀念日 來る二十七日は龍山小學校創立第四週年紀念日に相當するを以て學校職員生徒等は式を擧げて此の日を祝すべく大久保民長亦式に臨むで一場の訓話を爲す筈なりと云へり

▲岡正矢氏の歸國 鐵道廳運輸課長なる同氏は夫人病氣の爲め昨朝歸鄕せり

▲割引乘車券發賣 鹿兒島線開通せしを以て荷客運帶輸送開始せしは既報の如くなるが同時に同線と鐵道廳主要驛に於て日韓運帶二割引往復乘車券を發賣し尙滿韓巡遊券をも發賣すと

▲最近の京城商況▼

▲烟草 官烟草は各種共益々需用を增加し頗る好況を呈し前年の昨今に比すれば十月中に於て殆ど六割强の賣行增加を示し十一月に入り益々好景氣なるが就中(珊瑚印)及口付烟草も近來著しく需用劇增せり然れどもスター、リーの二種は近時埃及土耳古品に壓倒せられ賣行頗る鈍く又た外國貨も相當賣行あり

▲薪炭 目下期節に入りし事とて一般に需用增加を來して好況なり然れども目下韓人側の收穫時期に際し地方の出廻り捗々しからず爲めに相場漸次昇騰の有樣なるが十月中の相場は其前月に比すれば木炭十貫目に就き約五六錢薪十貫に就き三四錢の騰貴を示せしが本月に入りては一層の活氣を呈せり

▲石炭 は時候柄追日好況に向ひつゝあり併し本年は母國の下落と汽船運賃低落とにより昨年に比すれば稍や安値なるが今後需用の增加に從ひ多少の騰貴は免れざるべし(京城會議所調査)

●韓語研究法

今回當地大漢門前盛文堂より發賣せる韓語研究法は忠清南道江景居留藥師寺知朧氏の著述に係るものなり藥師寺氏は愛媛縣宇和島の人にして嘗に仁川朝鮮新報にありしが後江景に往き韓南學堂を設立し日韓子弟の教育に從事する事十數年而して今回著述に係る同書は氏が多年子女育英に依つて得たる實驗より割出し韓語の文法を解述すること頗る明晰にして其內容は諺文、音便、名詞、動詞、形容詞、助動詞、助辭、副詞、接續詞、感動詞の十章に分ち逐一適切なる會話の例語を擧げて韓語の用法を解說し且つ附錄として「天爾遠波」一覽表並に日韓字音比較表を添へたり斯學研究者に取つて好箇の侶伴たるを失はず定價一部一圓五十錢南韓賣捌所は江景中町梶商店なり

●在仁大分縣人會 在仁大分縣人懇親會を來る廿七日午後六時より日本公園入坂樓に於て開催する筈なりと云ふ

●吉松書記官披露 吉松書記官は近々官民の知友二百餘名を京城ホテルに招きて其結婚の披露をなす筈なりと

●判事岩野新平氏 高等法院判事の同氏は一昨日着任天眞樓旅館へ投宿す

●新任仁川分監長 京城監獄仁川分監長として星忠平氏兩三日中着任の筈

●小野技師の入京 內務土木局水原出張所技師小野是三郞氏一昨日入京す

●柳田事務官歸期 黃海道へ出張中の柳田事務官は交る二十六日歸京の筈

●內田主幹の出發 滿韓實業協會主幹內田竹三郎氏は廿三日釜山へ向ひり

●西田社長の入京 元山每日新聞社長西田常三郞氏は廿三日入京三日月へ

●有本辯護士入京 有本源次郞氏は一昨廿二日入京山本旅館へ投宿したり

▲治外法權▼

今度統監府が足元から鳥がたつた如くに慌てゝ地方行政調査委員會を設くる事にしたのは議會の質問を見越して申譯に遣つた事だと云ふものがある▲ソレは兎に角右の地方行政調査委員會を曾禰統監の英斷に因り出來たものだと內地へ電報した輩がある、英斷も事にこそ因れ、こんな御用通信こそとイキの引倒しと云ふものである▲行政調査委員會に續て舊慣調査會と云ふものが出來るソウだ、而して此會の仕事は韓人の舊慣を調査するに非ずして統監府自身が其設置以來過去四年間の舊慣を調査するんだツウだ、何だかウソの樣な話だ▲元第一銀行京城總支店の幹部連に向つて韓政府から近々敍勳の沙汰を下すソウだ韓政府の勳章あまり難有ないもの故銀行連が受ける受けぬは知らぬが苟くも永年國庫事務に鞅掌した面々に八封太極等を贈つて彼等の功勞を表彰するは他の官吏などに對する權衡上當然の事である、但し敍勳の後はあまり佩用せぬ事を市原君以下に今から願つて置く、何どなれば佩用されたら韓銀株が乾度下がるからである▲韓國內には統監政治を監視する機關が無い御用新聞の外に日本人の手に成る新聞もあるが抑壓が强くて思ふ事が言へない、動ともすると退韓命令で追拂はれる、韓人の新聞に至つては殆んど全く自由を奪はれて居る、新聞の原稿細大悉く檢閱済の上ならでは發行させぬと云ふ暴虐だものとは過日來遊した東京朝日新聞澁川玄耳君の言ふ所である。

病院訪問記（六）

江頭眼科醫院

十一月二十二日。菊日和！午前十一時本町一丁目日本町憲兵分遣所前の江頭眼科醫院を訪ふた。來意を通ずれば院長の令夫人？とも思はるゝ二十三四歳の婦人が應接に出て與れた。今恰ど患者の診察最中だから一寸お待ち下さいと來た。玄關には滿開の菊花が一鉢据ゑてある。患者控室には三四人の外來患者が火鉢を取圍つて三角同盟的に對座して雜談に耽つて居る。自分は無聊を感じたので無意味に菊の花を眺めた。梅が花の魁なら菊は將に花の殿ともいふのであろう秋の末霜を凌いで咲くから操の花として稱はれたなら更に妙だろうなぞと愚にもつかぬセンスに耽れて居た。四五分間經つか經たぬ間に院長江頭富雄氏が診察用白衣を纏ふて玄關に顯はれた『愚もお待せ申しました』と歎待頗る叮嚀を極む――導かるゝまゝ診察室に抵る。建物は韓國建築らしく天井なども餘り高くない。隅から隅まで韓國特種の色彩紙で奇麗に張つてある。院長は中肉中背顏色稍淺黑く鼻下の美髯を蓄へて徹頭徹尾辭令に嫺ひて謙譲の態度で極めて慇懃なのには聊か恐縮した。加之見掛によらぬ愛嬌たつぷりで自分の如き無愛想な者い調判者としてはお誂向に調和が取れて氣持がいゝ。院長は去る三十八年長崎醫學專門學校眼科部を卒業せられ直ちに同地の縣立病院に奉職し約半年間は外科の診療に從事して居たが後眼科に轉じ四十年三月迄四年間同病院に勤められたが四十年三月渡韓して當地に來り漢城病院眼科部長に就職した。當時同院は京城民團役所が居留民の爲め特に設立して民團保護の下に經營して居たが近來邦人醫師の續々渡韓して開業するもの漸く多くなつたので特に民團保護の病院の存在を認めぬ樣になつたので本年五月に至り民團から手離したので氏は斷然辭職して直ちに今の所に開業したのである。兎に角京城に於ては眼科專門の病院は當院以外にはないのである。目下毎日平均三十五名乃至四十名位の來診患者がある。而して槪して韓人患者は殆んど絕無といつてよい位な相な。四季を通じて眼病者の一番多いのは春秋で夫が夏だ冬は比較的少ないとのまだ眼科では入院患者は少ない。それは睦不自由なのは眼の一局部だけで身体は健全であるから特に入院す必要を認めない場合が多い亦往診なども餘り多くないと語られた。京城市内で個人で病院を經營して行くのには一箇月少くとも五百圓以上の收入がなければ到底維持が出來ないとは自分が曩に往訪した時某病院長の話であつたが當院でもこれに略ぼ一致した話を聞いた。由來醫は仁術で候のなんのと世間体のいゝ美名詞を弄したからとて醫師とても均しく人間なるからには畢竟仁術と謂ふのも衣食足つて後の話たるや勿論である。新殖民地に於ける其業界の前途も亦遠いかな矣。（藤子）

第一樓支店の放火詳報

▲内縁の夫妓夫を怨みて

去る十月九日午前九時頃新町遊廓第一樓支店入口帳場の格子戶に石油を注ぎ放火したるものありしは當時の紙上に報じたる如くなるが我社は本事件に關し精探するところありしが何分豫審中に屬せしを以て輕く緘默せしが既に其筋の取調も結了せしを以て今茲に詳報せんに第一樓支店の妓夫東京府平民藤田源之助を内縁の夫とせる原籍東京市深川區佐賀町二丁目十番地平民佐足かね（三十）なるもの昨年十月前記源之助と内縁の夫婦となり本年四月に至り公然夫婦となりて一家を持ちたるが源之助は其後二ケ月を經る内持前の放蕩を初め四月には到底末の見込なしとてかねより夫婦別れ話を持出し東京までの旅費を源之助に請求せしに源之助は漸やら居やら三十圓を調達して同人に與へたるにかねは同人の爲め體に衣類を入質せしを受出したれば旅費に不足を生じたればかねは歸郷を思ひ直して再び同人と夫婦にならんものと其意を源之助に洩かしたれども同人は依然故意かりめを許さずかねは大いに仕打に憤慨して或夜就寢の際を窺ひ男の衣類一切を隱し一時騷ぎにたらしめたることもあるが源之助は知らぬ顏の半兵衞にして相手にせず九月一日同樓支店帳場に執務中の源之助を訪ひ通りにならねば殺して了ふぞと遂に源之助の頸筋に微傷を負せたる騷ぎに其場は同樓仲居等の仲裁せしに依り先づ納りたるも爾後かねは身を捨てゝ源之助を殺害して怨みを晴らさんものと日夜これが實行方法に就て腐心せし折柄九月六日源之助が遊客の宿所新町派出所に届出でんとするを見て其歸途を擁して短刀を以て最後の談判をなさんものと待受けしも源之助が聞きて恐氣を起して同所の長本飲食店に駆込み一時の危を逃れたるがかねはこれまでなりと遂に去る十月八日の晩本町六丁目の老韓人經營の雜貨店にて油五合と古新聞紙を購ひ求め同所第一樓支店附近を徘徊して時機の至るを待ちたれども衆目に遮られて目的を達する事を得ず九日未明源之助の動靜を窺ひ帳場の戶が靜かに押したるに案外容易に開きたるを以て携帶し來りたる石油を注ぎ燐附木にて火を附け直ちに現場を逃走して附近の丘上に駆け昇りて火事になりたるを目撃して南大門停車場に至り直に新義州行急行列車に搭乘して下車し同地海岸通り某宿屋に二泊して仁川に向ひ更に群山を經て金堤に落延び同所陶店里旅人宿蔡原敬太郎方に下婢となつて住込み居たるが一方所轄南部警察署にては去る十四日全州警察署に移牒して同人の逮捕方依頼せしを以て同警察署にては金提駐在所に搜索を命じたれば遂に同日巡合嚴探の結果同人が前記の處に下女となつて潛伏しゐたるを探知して直ちに有無を言はせず引致して南部署へ引渡したるが同人は田部警部の取調に對し初めの程は言を左右に託して白狀せざりしが嚴重なる訊問に對し遂に包み切れず逐一自白したるが身柄は近日一件書類と共に檢事局に送致せらるゝ筈なり

▲電車の内▼

縞面の眼の凄い、金歯の甚だ目立つ四十歳許のが、半外套の釦を外して上着のもかけず、短衣の腹に金鎖物々しく絡ませたのを、面に似ぬ優しい指で爪撫りつゝ、此方の縞の羽織に衣裳は、態と……と云つたらしい黒びだ木綿物、前垂の上端には、これも金鎖を覗かせたる三十五六の顏を見てニヤリ〳〵と、氣味惡く笑ひながら彼奴は甘いよ、品物は無いんだよ、イヤ有るには何處か有りもしやうが、何處に有るのだか分らないそれに何々何十石、何々何百石緞入りだ、切符が出る、金が出來る、其處で物品の所在が分る、何々何十石の何百石のが緞に忍び込む譯よ、何うだい、オイ惡くあるまい、オット ヨボーカマイッソ……二人はアタフタ電車を降りた、場所は南大門外、龍山新市街への分岐點（●●●の字）

昨晩の明治町の出火

▲損害額金約四千圓

昨晩の夢未だ全く破れざる昨廿四日午前四時十分頃明治町三丁目なる明金湯より發火して同湯及營業者住宅、隣家一棟を燒き拂ひて五時十分鎭火したるが今其原因を聞くに同湯の有明ランプより發火したるものならんとか詳細は今其筋にて取調べ中なるが何分場所柄のこととて其の混雜は非常なるものなりき

……を極めたる觀破子も其炎威を逞ふする……に至らず僅か三軒を燒失したるは不幸中の幸と云ふべきなり損害見積金額約四千圓と傳へらる

駱駝昌德宮内に死す

▲南無畜生頓生菩提

昌德宮秘園内動物園に飼養せられ無格好にして偉大なる體躯と奇妙なる叫聲を發するとを以て參觀者が好奇の眼を一身に蒐め居たる駱駝の牝牡二頭二十一日の日曜までは最も活潑に運動しつゝありしに夜に入りてより其の一頭より係員の驚きも一方ならず介抱に手を盡したるも藥石效を奏せず自ら斃れ流む廿二日の曉遂に歸らぬ旅に上りぬ屍體は大韓醫院後庭に於て獸醫立會の上解剖に附したる結果罹て罹り居りし肺炎に何症かを併發したるものなりとの事なるよ係りへ問合はしたるも未だ獸醫より報告なければ詳細は知るに由なしとか、さあれ雲山萬里を隔てたる韓國の空に其の一頭の死を弔へる彼の女が疵しき夜な〳〵の思ひや何處を辿るならんか、哀れは人の子の上のみかは 南無畜生頓生菩提

●ヨボ三助の亂暴 大和町一丁目浪花湯事高杉米三方雇韓人文在善（二十）は廿二日午後六時頃酩酊して同郷人なる姜甲吉なるものを其奉公先なる若草町一丁目部湯に訪ひていきなり理不盡にも同人を毆打し剩へ酒氣に乘じて部湯の裏手井戶の柱一本を倒し座敷の障子を破壞して益々亂暴を働きて始末に了ねざるに依り警官出張して同人を檢束し醉醒の上損害金五十錢を支拂はしめ尚ほ將來を戒めて釋放したり

●聯合繁榮會賣出 京城の各商店聯合して十二月一日より同三十一日まで景品付大賣出をなすことに決定し景品は一等二千圓二等一千圓三等五百圓四等二百圓五等百圓各一枚宛にして六等は五百圓を五十枚に分ち七等は二千五百圓を二千五百枚に分ち空籤はなく而して一月七日商業會議所にて抽籤して同八日より三十一日までの間に景品の引替をなすと

●脫艦水兵の引渡 仁川港に碇泊中なりし吾妻艦乘組二等水兵安藤雅一同島田文次の兩名は去る廿二日上陸したる儘歸艦せず行衛不明となりたるにぞ同艦より仁川署に搜索願を差出したるが去る廿二日市中を彷徨せるを發見して本艦に引渡したりとは厄介な水兵と云ふべし

●基督教青年會 ……延引せられありしが……博士平岩宣保氏の來京を機とし今廿五日午後七時より相町四丁目同教會堂に於て平岩氏の講演ある由なり演題は「基督教の神髓」なりと云ふ

松旭齋の奇術

▲大天一の奇術を其儘

二十三日より旭歌舞伎座に開演せる松旭齋小天一の奇術は彼れが師匠たる大奇術家天一と何等替る處なく年齡の若きだけ如何に機敏なるやに見受けらる殊に空中メスメルズムとて少女に催眠術を施し之を空中に一の字なりに止めるに至つては從來天一の奇術に於てすら見ざりし最も嶄新なる者にして思はず拍手喝采を禁ぜざらしむ其他滑稽七變化、怪物屋敷、自在噴水の如きは最も見るべき者なり尚ほ興行日數は廿三日より七日間にして一日も日延なしと

●遊廓だより 桃山遊廓櫻の楢子は廿二日龍山桃山遊廓に鞍替し大桝屋の千年姐さんは一昨日年が明きて綺麗さつぱりと足を洗ひたりとは芽出度し

●東券の新妓披露 藤井あいといふ別嬪が福助と名乘り今晩より召に應ずと粹様方へ御知らせ申す

●一昨夜の新町 遊廓の嫖客は百十二人散財額六百廿圓卅三錢なりと

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

十一月二十五日 舊十月十三日 八白佛滅 己丑みつ △一白 進取不利退守に利あり遺失盜害病傷畏るべし△二黒 親しき間には疎隔起り他人のためには損害を蒙るあり△三碧 詭計詐謀防ぐべし旅行凶兄弟間不利の兆あり△四綠 陰鬱なる日なり不得要領に終り易し新事及改易凶殷業殖林の事吉△五黃 保證受印に付き迷惑あり又過失失念あり其外平靜△六白 人より各疑にあふあり其外良好の日とす△七赤 對談契約依賴等人に倚る事勢ふ色情痴話を戒しむ△八白 頹勢の日なり新事放易効なし女色酒害盜難遺失注意すべし△九紫 隆昇の日なり大概吉但し旅行見合す可

◀平民文庫▶

▲新聞植字希望生に告ぐ 南大門通りグイガー印刷所に缺員あり面談したしとのことなり至急往訪せらるべし（係）▲本局前の小林時計店主に一筆申上げます約一主義で吾々薄給者が安價で時計を持つことが出來まして誠に幸ですタイムを恪守することが出來まして遲刻もせず上官が好機嫌です昇給し……十五圓二十圓位から初められ……ては如何ですか年末ですから今から……下さい（腰辨生）▲中等教育……經験あり何れにか雇はれたし（●●●姓名在社）▲ハラ〳〵と散り行く秋のくれ（不況●●）▲菊の花もモウ盛りが過ぎた（頓打子）▲明治町に火事があつた相ですが私共温突住人には分らんので困ります當局が民文庫に度々希望せられた通り交番所だけになりと警鐘を設置せられたい大した費用を要する理由でもあるまいし理髮師は泥峴街だけ保護すれば宜いと思つてるのかしら（探肉生）▲鹿の肉を販賣せる所御存じの方は當欄にて知らせ下さいませんか（憤慨子）▲人の食べてるものを見ると甘さうだから買つて食つて見るとチットもカラ味くない何う云ふものか知らん（ケーエス生）▲夫れを命名て食客的根性と申します（小僧）▲此の頃平民文庫が振はないのは何う云ふものかしら投書函の三つも出して御覽なさい乾度振ひますこと受合ひです（忠告生）▲松旭齋小天一の奇術は素晴しいものだ子供乘計りぢやない大人も見て宜い第一罪がない奧さん方には最も勸めする佛蘭なぞに眼を細くして家庭の平和を破るよりは餘程ためになる（への字）

各種洗濯石鹸
專門製造販賣
用途
陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目 (電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求炊事女 年四十恰好のもの至急入用 本町一丁目官舎 桐原
●店員入用 十六七歳にて確實なる保證人有者 龍山京町古田米店(四八〇)
●下婢入用 十四五歳の下婢を求む餘暇には裁縫習字讀書諸禮生花等女子に必用なる教育を施す氏名在社(四七九)
●求職 年廿六簿記に經驗あるもの至急職に就きたし 氏名在社(四八二)
●ボーイ入用 十五歳以上廿歳以下數名入用 南山町三 京城ホテル
●被雇たし 年三十五普通教育あるもの鑛山事業に多大の趣味を有す如何なる危險も不厭 姓名在社(四八三)
●被雇度 年三十三才貨物取扱及稅關手續に經驗あり英語を解す商店又は會社は雇れたし 氏名在社(四八五)
●女中入用 十五歳以上四十歳以下の上品なる女入用給料望次第保證人を要す(家庭小人數) 龍山老松町三四兒玉
●被雇度 年廿五寫眞術並に測量等に經驗有り 氏名在社(四八七)

物件部

●讓渡度 活版印刷機械及附屬品一切至急讓り渡たし委細面談 本社内 酒井
●貸家 本町通り目拔の場所にて貸家あり希望者は來談あれ 氏名在社(四七〇)
●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊を疊敷二階六疊二間疊椽井戶物置湯殿付家賃面談 氏名在社(四七八)
●貸家 北部齊洞廿九統四に安價の貸家韓家數間あり御希望の方は同所の内尾に就き問合せあれ

廣告

龍山榮町
歐米新式
高等裁縫
田口洋服店
電話三一二番

龍山老松町
陸軍諸官衙御用達
建築土木工事請負業
磯口商店
電話一一九番

龍山若松町
島崎鐵工場
電話四四一番

龍山元町三丁目
院長 醫學得業士 長尾乙二
長尾醫院

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

擴張廣告
今般拙者有名なるソンタクホテルの跡を引き受け改良に改良を加へ精々勉强仕候宴會其他の準備も整へ居り料理も御望に依りては至極廉價を以て調進可仕候何卒御遊覽々御來の程切に奉願上候
京城貞洞
ソンタクホテル
主人 ジ、ボエル
電話七三九

根炭 堅炭 堅薪
松薪 松炭 石炭
京城旭町四丁目(電話一九八番)
眞下大吉商店

根炭 堅炭
堅薪 松炭 松炭
石炭
京城漢江通五丁目
直見商店
電話龍山二四〇番

○東京勸業博覽會 褒狀受領
○東京勸業協會製品々評會 賞牌受領
御簞笥各種

御婚禮道具一式
右御注文の品御好に應じ精々大勉强確實堅固に出荷仕候間御用命仰付被下度候
營業案内御入用の節は御申越被下度候
東京市日本橋區小傳馬町一丁目
上初簞笥店
田中初五郎

手提荷縮具
專賣特許壹六八八八號
(たたみたる圖)
(荷を縮めたる圖)
●体裁頗る優美なり●商工業諸君の日用具として輕便無比なり●學生諸君の通學に最も必要なり●官吏會社員諸君の出張用に便益多大なり●一般家庭の進物用として最適當なり●構造は堅牢にしてニッケル製塗物製共に永久の使用に堪ゆる優に目方六貫目内外の重量を携ふるに足る
製造發賣元
東京芝區通新町五番地ミコシ商店
カバン商
鈴木定吉

入○院○隨○意
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
各○科○診○療

原料直輸入廉價調製各種木形新着
弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは嶄新の粹を集め常に諸彦の御滿足を得居候
●京龍間は御一報次第店員を派し地方は御一報次第見本帳御送附可仕候
特價
深ゴム靴 六圓五十錢
アミ上靴 五圓五十錢
淺ゴム靴 五圓五十錢
京城本町一丁目(郵便局前) 東京 北村支店 店主 [illegible]

緊急廣告
石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
○印刷鮮明○校正嚴密○類集整然○携帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要
壹冊紙數六百頁 菊判半截形 製本堅牢 正價金六拾五錢
此際に限り實費金五拾錢にて配本仕候十二月五日出來配本
◎本書は日韓一家的關係の上に於て近來に於ける一大進捗とも稱すへき司法權委任に關する法令を餘さず洩さず網羅蒐集したるものなり
◎本書は時世の要求に依て産れ出關係官民各位の竭望に應すへく玆に印刷實費を以て提供を開始せり
◎本書は官衙公署は勿論銀行會社組合事務所其の他苟くも在韓官民諸彥の座右に是非備へ置さるへからさるものなり
◎本書は必要の場合に應して使用するのみならず此際に於て是非一回は御通覽の必要あるものなり
○總目次見本は御申込次第郵送可仕候持別減價の方法あり
○御希望の方は本月末日迄に御申入れを乞ふ
京城明治町三丁目
日韓印刷株式會社出版部

明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
東京火災 海上運送 保險株式會社
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

開院廣告
本院は左記の時間割を以て左の諸氏に依賴し各科の診療に從事す入院の需めに應す
外科花柳病科 診察時間午前九時より正午に至る 前漢城病院長 ドクトルメヂチーチ 和田八千穗
内科小兒科 同 自午後一時至午後四時 前仁川病院長 醫學士 松村三省
眼科内科 同 自午後一時至四時 東京醫科大學選科卒業 院主 瀧澤喜太郎
耳鼻咽喉科 同 自午後一時至四時(但し毎月四回一日五日十五日廿五日) 醫學得業士 赤羽學
婦人科 同 自午後一時至四時 醫學得業士 天ケ瀨健六
龍山居留民團囑托
龍山榮町(文平山麓)
龍山醫院

多少不拘萬事御便利ニ御投申候
旭町三丁目
賀川崎
品物大切ニ保管秘密嚴守仕候
電話六七三番

折箱製造元
京城明治町一丁目五十番戶
漢城病院下横へ入ル
箱信事 鳥山商店

馬車配達
●●●滋養と牛乳●●●
純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
●●●衛生と消毒●●●

宮内府御用
博物館
古今美術 書畫表裝 金銀屛風襖洋式天井張
壽町二丁目
表具 松月堂
電話千〇〇三番
勉強を旨とし大勉強仕候也

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
院主 醫學得業士 中島貞信
中島醫院

特約販賣
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
自製 和洋酒、◎精酎、穀物、麵類、銘茶、鑵詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

謹告
時下初寒の候各位益々御清榮奉賀上候陳者弊商會儀設立に付勞力を出資こ見做合同致たる佐藤豊今般都合上弊商會こ全然關係を斷ち爾來は聊何等關係無之自分一個の經營に致候間此段謹告候也
合同經營は業務發展の上に於て兎角弊害多く自今單獨の商會に相成候に付ては極力奮鬪以て御愛顧に報ゐん方針に御候座間何卒倍舊の御引立あらむ事を奉希候以上
明治四十二年十一月

陸軍諸官衙御用達
歐米雜貨食料品 吳服太物 和洋酒石炭木炭
龍山新市街山下町一丁目
龍山兄弟商會
店主 小泉菊太郎
電話 十二月中旬開通
取次電話百四十八番

貨物運送取扱
稅關貨物取扱
貨物引換證發行
危險擔保附運送
品代金付貨物運送
內國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話一七九番 電話七〇八番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番
草梁驛前 釜山驛前 釜山出張所 電話五一六番 電話六三七番
龍山驛構内 龍山出張所 電話二〇六番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行 京城支店
(電話四二〇)

本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
出張所
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店内)

★株式會社 百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番戶
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、郡岸和田、御影、兵庫、神戶、平野住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡名古屋、半田、熱田、四日市、津山田、桑名松阪、
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 廣告
瀛船出帆 仁川 電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 十二月十九日後三時出
●大連、太沽行 高砂丸 十二月廿一日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月七日午前六時出
●大連行 酒田丸 十二月七日正午時出
●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 神丸 十二月八日午後時出立
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送り可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ス